

# 守谷市の路線バス&コミバスの現在位置バス情報アプリ

茨城大学、嶋原 育子

<http://www.msio.co.jp/>、shigi@msio.co.jp

## はじめに

茨城大学の都市システムで調査分析した結果を基に開発した、バスロケーションシステム（以下バスロケ）を「見えバス」と名付けた。「見えバス」は、既存のバスロケとの違いそのコンセプトとユーザーインターフェース（以下UI）に特徴を持っている。バス利用者へアンケートを行った結果「通勤・通学」「病院・買い物」「乗ったことのない路線」ではバスへの不安の種類が異なることが明確になった。その不安を解消するバスロケを目指した。

## 1. 「見えバス」の特徴

利用者目線で開発した「見えバス」は既存のバスロケと違い、出張や旅行先でも使える。バスに乗らなかった住民にもバスに乗る時の不安が解消されるようにと開発した（図1）。コンセプトには「柔軟性」「小回りの利く」「操作が容易」で、UIは「利用者位置から表示、ワンタッチでバスが見える」である。

## 2. 「モコバス」利用状況と「見えバス」提案

守谷市は、公共交通空白地帯の解消にコミュニティバス（以下コミバス）（愛称モコバス）3

ルートを運行している。利用促進のために、路線バスとモコバスの乗り継ぎ、モコバス同士の乗り継ぎ費用減額措置、小学生割引定期券（キッズパス）の発行、高齢者割引定期券（シルバーおでかけパス）の発行、高齢者運転免許自主返納支援事業、バスで買い物支援事業、路線バス昼間時間帯割引の実施、モコバス回数券の発行、モコバスのフリー降車制度の実施、モコバス無料デーの実施、つくばみらい市のコミバス「みらい号」の守谷駅への乗り入れを実施している。

そういう守谷市がバスロケを検討しているというので「見えバス」の説明に伺った。当然ながら市公共交通課の担当者は、コミバスだけで路線バスは考えていなかったが、守谷市は首都圏からの移住者も多く公共交通を充実させたいという希望があったので、コミバスだけでなく路線バスも同時にバスロケの提供を提案した。バスロケはバス事業者単位の導入でなく市内全体のバス運行を見せることで、バス利用者の利便性向上につながると提案した。その結果、守谷市はコミバスと路線バス、合わせて36台のバスで「見えバス」の導入を採用することになった。

この際、特に強調して提案した内容は、

- ・ UIが優れている事。ワンタッチ操作でバス運行状況が分かるため高齢者でも使えること。
- ・ バスに乗り慣れていない人でも使えるバスロケであること。
- ・ 自分が行きたい場所を通るバスなのか、イメージ的に分かること。
- ・ 自宅や職場からでもバスの運行状況が分かるので、バス停で待つ必要がなくなること。
- ・ 「見えバス」はバスの現在位置、運行中のバスの通過路線表示と時刻表、バス停の時刻表がワンタッチで分かること。

## 3. 地域情報プラットフォーム「Adloco」を使った観光、行政サービス

情報発信機能「Adloco」（図2）の機能を使って、育児（子育て支援）、気象状況、健康関連情報、イベント情報を配信することができる。また、「Adloco」は、広告収入を得ることを前



図1 「見えバス」画面推移

提として作られており、持続可能な取組みとして、「見えバス」を使い続けることが可能となっている。しかも、土地勘のない観光客にも「見えバス」は使いやすいため、外来者に地域情報を提供することで、しいてはバス乗客の増加を見込めるバスロケである。



図2 地域情報プラットフォーム (Adloco) 画面推移

#### 4. バス運行管理支援システム

図3では、バスの運行走行を時刻表と実際の運行実績を比較できる表とグラフである。次回の時刻表作成時に、時刻表と実運行時間に差異が少ない時刻表にすることができる。その他、ODデータ(乗降者)を表にしたり、「見えバス」利用者の位置情報を収集して地図上にプロットしたものを表示させることができる。バス利用者の位置情報を取得することにより、どこの場所ですべての人がバスを待っているかが分かるため、路線や時刻表改善のための分析のための基礎情報として利用することができる。



図3 バス運行実績と予定時刻との比較

#### 5. 「見えバス」利用者促進

スマートフォンを持たない人でもバスの運行が分かるようにするため、守谷市内15か所にTVモニターを使ったデジタルサイネージを設置することになった(図4)。



図4 TVモニターの設置

モニターの設置場所を、市役所、民館、病院、駅構内を候補として現在は考えている。

また、見えバスの利用を促進するために、利用者対象に合計9回の使い方講座を開設する。(市役所・市民センター・設置場所等) WEB版とアプリの両方の使い方や、ダウンロードの仕方などスマホの操作を教える。

#### おわりに

経済産業省が行っている新連携事業へ応募した。まず、全国でも少ない採択件数のなかに「見えバス」が採用されたことは、本研究が国にも認められたことを示すことになる。関東経済産業局管轄(1都11県)で、平成28年6月10日付けで「中小企業新事業活動促進法」に基づいて、新たに5件の「新連携計画(異分野連携新事業分野開拓計画)」を認定した。その中の1件が、本研究「見えバス」である。

守谷市では、それらの実証実験もできるので、行政、バス会社にもメリットのある事業にしたいと考えている。

